

2022年度 主題科目 リーディングリスト

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント (80~100字程度) / (6) 推薦者の名前 (所属)
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


リーディングリストに掲載されている本は、主に中央図書館2Fの特設コーナー(ゲートを抜けて、突き当りを左折)に配架されています。一部、この場所に配架されていない本もありますので、見つからない場合は図書館HPの蔵書検索で配置場所を確認してください。


- (1) 宮野公樹 (2021年)『問いの立て方』筑摩書房
- (2) 関連する主題: 領域I「経済・社会・文化」
- (3) キーワード: 問いの立て方、探究、課題解決
- (4) 難易度: 🌶️🌶️
- (5) 探究や問題解決学習において、最も重要で困難を要することは適切な問いを持つ、立てることです。どのようなレベルの問いを立てるとよいのかについての入門書です。
- (6) 推薦者: 神野幸隆 (教育学部社会領域)


- (1) 斎藤幸平 (2020年)『人新世の「資本論」』集英社
- (2) 関連する主題: 領域I「経済・社会・文化」
- (3) キーワード: 脱成長、SDGs、社会正義、幸福
- (4) 難易度: 🌶️🌶️
- (5) 持続可能な開発目標および社会形成には経済成長が必須なのか。筆者は「脱成長」というテーマでSDGsを問い直しています。SDGsを学なら、アンチSDGsの文献にも当たってみてはどうでしょうか。
- (6) 推薦者: 神野幸隆 教育学部社会領域

- (1) 【新】瀬地山角 (2020年)『炎上CMでよみとくジェンダー論』光文社新書
- (2) 関連する主題: 領域I「経済・社会・文化」
- (3) キーワード: ジェンダー論
- (4) 難易度: 🌶️
- (5) 炎上CMを題材としたジェンダー論の入門書です。自分のジェンダー観はみえにくいもの。本書で紹介される炎上CMと照らし合わせながら、自分のジェンダー観について考えてみてください。
- (6) 推薦者: 西本佳代 (大学教育基盤センター)


- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード：その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度：1～3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- (1) 【新】牟田和恵 (2013年) 『部長、その恋愛はセクハラです!』 集英社新書
- (2) 関連する主題：領域Ⅰ「経済・社会・文化」
- (3) キーワード：セクハラ、ジェンダー論
- (4) 難易度： 
- (5) セクハラ問題の第一人者が、豊富な具体例を紹介しつつ、セクハラ問題の構造を解説します。「女性はイヤでもにっこりするもの」等、背後に潜むジェンダーの問題についても理解を深めることができます。
- (6) 推薦者：西本佳代 (大学教育基盤センター)


- (1) 【新】窪田蔵郎 (2021年) 『鉄のシルクロード』 雄山閣
- (2) 関連する主題：領域Ⅰ「経済・社会・文化」
- (3) キーワード：シルクロード、遊牧民、鉄
- (4) 難易度： 
- (5) 西アジアから東アジアに伝わる鉄や鉄の技術が、旅行記を交えながら平易な言葉で説明されている。とくに古代遊牧社会と鉄との関係を考えるうえで、民俗学的な情報が豊富に織り込まれていて、重要な文献である。
- (6) 推薦者：愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター 村上恭通


- (1) 七木田 敦, ジュディス・ダンカン (2015年)
「子育て先進国」ニュージーランドの保育—歴史と文化が紡ぐ家族支援と幼児教育 福村出版
- (2) 関連する主題：領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード：ニュージーランド、保育
- (4) 難易度： 
- (5) ニュージーランドの研究者と日本の研究者が協同して刊行した著作。世界的に注目されているニュージーランドの保育を文化的背景から読み取って紹介している。
- (6) 推薦者：松井剛太、教育学部

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード：その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度：1～3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- (1) マーガレット カー, ウェンディ リー 2020年 学び手はいかにアイデンティティを構築していくか：
保幼小におけるアセスメント実践「学びの物語」 ひとなる書房
- (2) 関連する主題：領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード：ニュージーランド、アセスメント、学び
- (4) 難易度： 
- (5) ニュージーランドのアセスメントであるラーニングストーリーの哲学と実践が示された訳書。保幼小の実践が豊富に掲載されており、日本の教育・保育のあり方を問い直すきっかけになる。
- (6) 推薦者：松井剛太、教育学部


- (1) 広田 照幸 (2019年) 『大学論を組み替える』 名古屋大学出版会
- (2) 関連する主題：領域Ⅱ「思考・行動・生活」
- (3) キーワード：大学教育改革の是非
- (4) 難易度： 
- (5) 「大学教育を考える」の授業では、文部科学省が進めている教育改革の取り組みについて学びましたが、取り組みの問題点についても考えることは重要です。授業で取り扱った内容を異なる角度から考えるきっかけになります。
- (6) 推薦者：吉田博、徳島大学高等教育研究センター


- (1) 藤家洋一 (2005年) 「原子力」 ERC 出版
- (2) 関連する主題：領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード：放射線 エネルギー 核分裂 核融合
- (4) 難易度： 
- (5) 原子力について、事実を客観的に理解するためにやさしく書いてある。原子力に関連する問題に対して、サイエンスの立場からきちんとした意見を言うために、ぜひ勉強してほしい。
- (6) 推薦者：岡野 聡 (愛媛大学)


- (1) 多田順一郎 (2004年) 「《疑問が解ける》放射線・放射能の本」 オム社
- (2) 関連する主題：領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード：放射能・放射線・生体・安全・原発
- (4) 難易度： 
- (5) 放射線・放射能に対する疑問が解け、本質から理解できます。読みやすいので、入門書としてよいと思います。
- (6) 推薦者：岡野 聡 (愛媛大学)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- (1) 【新】小林 昭夫 (1988) ヒコークで知る飛行の原理—身近に学ぶ航空力学 (ブルーバックス) 講談社
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード : 安定性, 揚力
- (4) 難易度 : 
- (5) 飛行機にかかる力、主翼や尾翼、舵の役割を詳しく解説しているので、授業の後半がわかりやすくなります。厚紙組み立て紙飛行機的设计法の部分は、折り紙飛行機にも応用できて良いです。
- (6) 推薦者 : 岩本 幸治 (愛媛大学工学部)


- (1) 【新】ヘンク テネケス著, 高橋 健次訳 (1999) 鳥と飛行機どこがちがうか—飛行の科学入門 草思社
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅲ「産業・技術・都市」
- (3) キーワード : 揚力, 鳥
- (4) 難易度 : 
- (5) 27ページの図2「飛行相関図」が素晴らしい。両対数グラフで直線に乗るデータは、適切な無次元化をすれば全てのデータが同じ数値をとる、という流れの相似則を表しています。
- (6) 推薦者 : 岩本 幸治 (愛媛大学工学部)


- (1) 【新】ジーン・マリー・ラスカス (著) 田口俊樹 (翻訳) (2016年) 『コンカッション』 小学館
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅳ「生命・環境・地球」
- (3) キーワード : 病理学, 病理解剖
- (4) 難易度 : 
- (5) アメリカンフットボール選手の解剖から、死因を明らかにしたベネット・オマル医師の実話に基づいた小説です。映画でも見ました。病理医の仕事の内容やその重要性がよくわかる小説だと思いました。
- (6) 推薦者 : 香川大学医学部 腫瘍病理学

- (1) 【新】榎木 英介 (2019年) 『病理医が明かす 死因のホント』、日本経済新聞出版、
- (2) 関連する主題 : 領域Ⅳ「生命・環境・地球」
- (3) キーワード : 病理学, 病理解剖
- (4) 難易度 : 
- (5) 病理医は、病理解剖によって死因の解明を試みますが、分からないことも多く、悩みがつきません。病理医が感じることを真実に基づいて書かれていると思いました。
- (6) 推薦者 : 香川大学医学部 腫瘍病理学


- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- (1) 【新】アーサー・ヘイリー (著), 永井 淳 (翻訳) (1975年)、『最後の診断』、新潮文
(2) 関連する主題 : 領域Ⅳ「生命・環境・地球」
(3) キーワード : 病理学、病理診断
(4) 難易度 : 
(5) 退職間近の病理医の最後の診断が若い患者の一生を左右する重大な結果になる。そんな病理診断の重大さが書かれている小説です。病理診断の重みがよく分かる小説だと思いました。
(6) 推薦者 : 香川大学医学部 腫瘍病理学


- (1) 【新】宮下 直、瀧本 岳、鈴木 牧、佐野光彦 (2017年)
『生物多様性概論 —自然のしくみと社会のとらえ—』 朝倉書店
(2) 関連する主題 : 小西和彦 生命と環境
(3) キーワード : 生物多様性
(4) 難易度 : 
(5) 生物多様性とそれを取り巻く社会や環境の問題をわかりやすく解説している入門書。
(6) 推薦者 : 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)

- (1) 【新】ピーター・P・マラ (2019年) 『ネコ・かわいい殺し屋—生態系への影響を科学する』 築地書館
(2) 関連する主題 : 小西和彦 生命と環境
(3) キーワード : 外来種
(4) 難易度 : 
(5) 講義内でも触れているノネコ問題は、世界共通の大きな問題であるが、何が問題なのか、どう解決させていくべきかが判る。感情論ではなく事実に基づいた良書。
(6) 推薦者 : 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)


- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。


- (1) 【新】ウラケン・ボルボックス (2019年) 『侵略! 外来いきもの図鑑 もてあそばれた者たちの逆襲』
パルコ
- (2) 関連する主題 : 小西和彦 生命と環境
- (3) キーワード : 外来種
- (4) 難易度 : 
- (5) 子供向けの、漫画が主体の書籍であるが、現在市販されている外来生物の書籍の中で最も解りやすく最も網羅的なものである。外来生物の専門家が監修していることから、内容に間違いがなく最新の知見が含まれている。
- (6) 推薦者 : 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)


- (1) 【新】椎名隆・石崎陽子・内田健・茅野信行 (2015年) 『遺伝子組換えは農業に何をもたらすか 世界の穀物流通と安全性』、ミネルヴァ書房
- (2) 関連する主題 : 領域IV「生命・環境・地球」
- (3) キーワード : 遺伝子組換え、農業
- (4) 難易度 : 
- (5) 日本にどれだけ遺伝子組換え作物が輸入され普及しているのか、遺伝子組換え作物の安全性の問題など、我々の疑問に研究者、企業担当者がデータをもとに実証的に分かりやすく述べた良書である。
- (6) 推薦者 : 鳴海貴子 (農学部)

- (1) 【新】高山真策編 (2009年) 『植物バイオテクノロジー』、幸書房
- (2) 関連する主題 : 領域IV「生命・環境・地球」
- (3) キーワード : 植物組織培養、植物の遺伝子組換え、マイクロプロパゲーション、植物ゲノム
- (4) 難易度 : 
- (5) 植物バイオテクノロジーの基礎となる組織培養について詳しく述べられており、その技術の展開や実用化、遺伝子組換え植物の作出、植物ゲノムや遺伝子を用いた研究に至るまで丁寧に書かれた良書である。
- (6) 推薦者 : 鳴海貴子 (農学部)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】山本卓(2020年)『ゲノム編集とはなにか』、講談社
(2) 関連する主題 : 領域Ⅳ「生命・環境・地球」
(3) キーワード : ゲノム編集、遺伝情報とDNA、変異
(4) 難易度 : 
(5) 遺伝子組換えとゲノム編集の違い、さまざまな生物でのゲノム編集の現状や可能性などがわかりやすく書かれているゲノム編集に関する入門書である。
(6) 推薦者 : 鳴海貴子 (農学部)

- (1) 【新】大江健三郎(1997年)『芽むしり仔撃ち』、新潮社
(2) 関連する主題 : 特別主題(地域)
(3) キーワード : 太平洋戦争、差別、共同体
(4) 難易度 : 
(5) 愛媛県出身の大江健三郎が若い頃書いた長編小説。閉ざされた共同性とは何か、子どもにとって性や友情とは何か、暴力に対する抵抗とは何か、など様々なことを主題としている。文学が地域をえがくことの意味についても考えさせる。
(6) 推薦者 : 渡邊史郎 (教育学部)

- (1) 【新】山口守圀(2013年)『プロレタリア文学運動と黒島伝治』、海鳥社
(2) 関連する主題 : 特別主題(地域)
(3) キーワード : プロレタリア文学、小豆島
(4) 難易度 : 
(5) 黒島傳治は壺井栄とともに小豆島出身のプロレタリア文学(労働者文学)の作家であるが、独特なヒューマニズムを持ち意味づけが難しい。彼をプロレタリア文学運動との関係において考えた本であり、なぜ小豆島からプロレタリア文学がでてくるのか考えるのにも役立つ。
(6) 推薦者 : 渡邊史郎 (教育学部)